

糶谷地区 神社特集

新しい年が幕を開け、みなさまいかがお過ごしでしょうか。

新年第一弾の第65号では、糶谷地域の古く歴史のある神社を各町会の編集委員が巡り、その歴史や風情、そして大切にされている習わし等をご紹介します。

新年の参拝に訪れる際に神社ごとの魅力を再発見したり、日常の喧騒を忘れて心静かに過ごす時間の大切さを感じていただければ幸いです。

◎西一仲江名天祖神社
一部落に二社建立してあり、東西向かい合っている二社の西側です。社殿は木造流造で、鳥居、燈籠、拍犬はなく、水屋手水石があるが使われていません。



◎仲江名天祖神社
仲江名厨子の神明社。村民太郎兵衛という者が造立したといわれる社で、東西向かい合っている二社の東側です。社殿は、平成元年改修され石造流造になっています。



◎子安八幡神社
八幡神社の歴史は相州鎌倉の小袋山に祭祀在りしを応永元年（1394）に下袋村（現在の場所）に御遷座されたとの古文書があります、今から630年前室町時代／金閣寺が出来た頃で、糶谷地区では最も歴史のある神社です。境内には子安八幡神社の他に諏訪神社、春日神社、末広稲荷の社もあります。三社は新呑川の開削や産業道路の建設のため移設され現在に至ります。同じ境内に四つもの社があるのは全国的にも非常に珍しいそうです。また子安八幡神社の境内には、区内最古の「石鳥居」があり、大田区の指定文化財になっています。



◎糶谷神社
神社内にある太平洋戦争慰霊碑には糶谷地域内の英霊342柱の名が記されています。慰霊碑の横には「国のため生命捧しもの心の華とちりにし名をぞとどむる」と刻まれています。



◎五社大明神
その昔、この付近にこんもりとした小高い貝塚があり天神山と呼ばれていました。そこから出土した五体の遺骨と付近より出た武器により新田義興公に仕えていた五武将であるとし、当時の人々が五つの墓柱をたてたのが始まりと伝えられています。現在は石仏となり、この付近の方々により社殿と赤い鳥居が造営されて五社大明神と称され信仰されています。



◎西仲天祖神社
社殿の左側にある瘡守稲荷大明神は皮膚病に靈験があるとされています。



◎観音堂
元禄10年山形県月山より分霊したお曼荼羅と石仏一体がありましたが、戦災で焼失して行方不明となりました。現在のお堂は昭和63年に建立しました。



◎浜竹天祖神社
浜竹天祖神社の歴史は330数年に及び旧地名の糶谷村濱竹厨子より、濱竹天祖神社を称するといひます。昭和12年当時は糶谷小学校校庭の中央にあったが羽田第二小学校（糶谷小学校の旧名）拡張のため氏子協議結果、現在の地に神社移転が行われました。



◎村守稲荷神社
稲の精霊を神格化した神といわれ、五穀、食物を司ります。地域の守護神として奉納されたと伝わっています。児童公園の一角にある小さい神社です。



◎三徳稲荷神社
三徳稲荷神社は宝暦6年（1756年）浜竹村に建立されると記載されています。実際、伏見稲荷大社よりの書き付があるようです。尚、三徳とは①幸運になりますように、②封禄が授かるように、③長生き出来ますようにと願いを叶えるという『三つの徳』です。

